



光明中学校だより

ひかり 明るい みんなの笑顔 心がステキ 光明中 ～人と人のつながりがたからもの～

第10号【令和7年9月24日】 生駒市立光明中学校 校長 斉藤 稔

文化発表会

ディズニーの名作『美女と野獣』が、光明中学校で見事に蘇りました。1年生の有志による演劇動画の発表は、まるで未来の役者の卵を見ているかのようで、楽しく、微笑ましく、心が温まるひとときでした。限られた時間の中で台本を読み込み、役になりきるために練習を重ねてきた生徒たち。その成果は、画面の中でしっかりと輝いていました。『美女と野獣』に描かれている「外見ではなく内面の美しさ」というテーマは、いつの時代にも観客の心を打つものです。緊張しながらも堂々と演じる姿からは、仲間とともに創り上げた演劇への誇りと達成感が伝わってきました。衣装や小道具、演出にも工夫が凝らされており、物語の世界観を豊かに表現していました。観る人を楽しませたいという思いが随所に感じられ、まさに演劇の魅力が詰まった発表でした。

文化発表会は、吹奏楽部の素晴らしい演奏で幕を開け、ビブリオバトル、学級旗、各学年の取組発表と続き、生徒たちが4月から積み重ねてきた学びの成果を確かめる貴重な機会となりました。午後の展示発表も目を見張るものばかりでした。造形部が創作した巨大ハンバーガーは、ビビッドな色使いでまさに現代アート。美術室前に展示された空き缶アートは、アンディ・ウォーホルを彷彿とさせるポップで前衛的な迫力がありました。理科の「一人一研究」は、思わず笑ってしまうほどのユニークな発想の連続。手芸部は老人介護施設「延寿」さんとの心温まる交流を紹介してくれました。文芸部の作品は、言葉選びが絶妙で個性あふれる世界観が広がっていました。世界の国調べでは、私が以前暮らしていたアラブ首長国連邦についての展示もあり、懐かしさと郷愁を感じました。どの展示も力作ぞろいで、1日ではすべてを見きれないほどの充実ぶりでした。

文化とは、過去から現在、そして未来へと受け継がれていく人間の営みです。音楽、絵画、文学、演劇など、人間の創造性によって生まれる表現活動は、心で感じるものです。子どもたちはその文化の中で育ち、学び、やがて自らの文化を築いていきます。学校という場もまた、文化を継承する大切な場所です。日々の学校生活の中で、子どもたちは教科の学びだけでなく、友だちとの関わりや先生との対話、行事や日常のルールを通して、さまざまな価値観や態度を身につけていきます。こうした日々の学びや行事の中で、光明中学校の文化を身につけ、未来へと受け継いでいくのです。文化発表会で培った学びが、生徒たちの心の成長につながるよう、今後も教職員一同、力を合わせて支えてまいります。

ご観覧いただき、ありがとうございました。